

令和7年度 西坂小 学力向上プラン

1 学力調査結果に基づく「短期プラン」

(1) R6課題の改善状況

R6国語科、算数科においての課題は、3～6年でおおむね改善されている。

(2) R7全学年共通の重点課題

R7国語科の「漢字の読み、書き」、「叙述を基に情報を関連付けて読むこと」において課題がある。また、R7算数科の「データの整理」、「分数の意味理解や分数の計算」において課題がある。

①R7国語科の重点課題を「読解力の向上」とする。

②R7算数科の重点課題を「分数の計算」とする。

(3) 2学期以降の各学年で重点化する指導内容と具体的取組（全：全校共通課題から 数：学年課題から）

	重点化する指導項目		具体的な取組（関連単元、授業での取組、キュビナ等）
1年生	国	全	抵抗なく文章を書く 物語文で感想を書く機会をとる。アサガオの観察や絵日記で、書き方を理解させる。物語を考えて、作る。
		1	思ったことや伝えたいことを書く活動 視点を与えながら書くことで、書き方を知る。見つけたことをカードに表し、文章を書く。登場人物を決めて、友達と話し、大まかな話を作る
	算	全	繰り上がり、繰り下がりの計算 被加数が9のときに加数分解による計算方法を身につける。減数が9のときに減加法による計算方法を身につける。
		1	個々に合った反復練習 計算カードを毎日練習する。キュビナを使って、繰り返し練習する。
2年生	国	全	読解力の向上 物語文、説明文で、叙述をもとに内容を読み取る。 「お手紙」「スーホの白い馬」「どうぶつ園のじゅうい」「ロボット」
		2	読解力の向上 物語文、説明文で、叙述をもとに内容を読み取る。 「お手紙」「スーホの白い馬」「どうぶつ園のじゅうい」「ロボット」
	算	全	分数の基本の理解 分数の学習で、図など目に見えるようにして理解させる。 「分数」
		2	図や文章の読解力の向上 文章題で、図をかかせたり、読み取らせたりする。 「たし算とひき算のひっ算」「たし算とひき算」
3年生	国	全	読解力の向上 場面の様子や登場人物の行動などを、場面の移り変わりと結び付けて叙述を基に、内容の大体を捉えるようにする。 「ちいちゃんのかげおくり」「三年とうげ」
		3	情報の扱い方の向上 共通、相違、事柄の順序（考えとそれを支える理由や事例）など、情報と情報の関係について理解し、書いて表現できるようにする。 「こんな係がクラスにほしい」「わたしの町のよいところ」
	算	全	分数の計算 簡単な場合について、分数の加法・減法の計算ができるようにする。 （被減数が1の減法計算の仕方、図や数直線の活用の仕方） 「わり算や分数を考えよう」
		3	図形 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見いだす。 「円と球」「三角形と角」

4 年 生	国	全	文章の内容を捉える	登場人物の様子や気持ちを主述に注意して叙述をもとに捉えさせる。 「ごんぎつね」
		4	漢字の読み書き	下位学年の復習も含めて日常で漢字を使って文章を書くことを習慣づける。
	算	全	仮分数、整数、帯分数の変換	図や数直線などを用いて考えさせる。習熟に向けて問題数を多く解く。
		4	個々に合った反復練習	プリント集やキュービナを使って基本的な問題から順番に問題に取り組ませる。
5 年 生	国	全	自分の考えを叙述や描写、複数の資料を基に書くことができる。	物語文や説明文は、本文に書いてあることや複数の資料をしっかりと読み解けるようにする。
		5	たくさんの物語や説明文を読み解かせる。	物語文では、中心人物の変容のきっかけを捉えられるようにする。それを基に、物語を一文で表す。題名にも注目させ、大切にしながら読めるようにする。説明文では、資料の有効性や筆者の主張を正確に読み取ること、批判的な読み、自分の考えを書くことができるようにする。
	算	全	分数と小数、整数の関係、分数の倍	整数の除法の結果を分数で表すこと及び分数と小数、整数の関係について理解し、数直線図を用いて、数量の関係を書き表すことができるようにする。
		5	データの活用	棒グラフと折れ線グラフを組み合わせたグラフの特徴を理解し、事象の特徴や傾向を読み取って、説明したり記述したりすることができるようにする。そのために、子ども新聞等に載っているグラフや表からデータの読み取ったことを説明した入り記述したりする活動を行う。 「考えるちからをのぼそう」
6 年 生	国	全	複数の資料から読み解き、自分の考えをかけるようにする。	物語文では、「やまなし」と「イーハトーブの夢」を並行して読み、宮沢賢治の難解な文章を読み解けるようにする。また、「鳥獣戯画を読む」の学習では、資料を丁寧に読み解き、考えを形成できるように指導する。
		6	自分の考えを書き表し、友達に伝えられるようにする。	普段の授業で、子どもたちの発言が少ない。つぶやきもない。活発な意見が出るように、普段から友達との交流場面を多く設け、自分の考えに自信をもたせる。その際に教員も関わり、考えに線などの印をつけて自信をもたせる工夫をする。
	算	全	分数同士のかけ算、わり算	異分母のたし算ひき算の演習を行い、通分や約分を定着させる。分数のかけ算やわり算の答えを導き出すだけでなく、計算結果に至るまでの説明ができるよう、途中式を必ず書くよう指導し、説明を行うようにする。 「分数×整数、分数÷整数、分数×分数」
		6	式や図からの読み取り	自分の考えを説明することができるように、式や図の有用性を味わわせ、答えに至るまでの過程に目を向ける癖をつける。 「円の面積」「比例と反比例」

(4) 全校としての成果指標

1年後の各学力調査において、

①国語科：C 読むこと

②算数科：分数の計算

に関する問題の平均正答率等を「全国（県）と同等程度（－3ポイント以内の差）以上」とする。

2 学習・生活状況等の改善を含めた「中期プラン」

(1) 全国学力・学習状況調査結果による本校児童の傾向

優れているところ・伸ばしたいところ（特徴的なもの5つ）	全国平均との差（％）	西坂小の割合（％）
①学校が休みの日に、1日あたり1時間以上学習している。	+44.5	91.6
②学校の授業以外に、普段（月～金）、1日あたり1時間以上学習している。	+37.6	91.6
③困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	+29.4	100.0
④理科で学習したことを普段の生活の中で活用できている。	+28.5	91.7
⑤算数の言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題で、最後まで解答を書こうと努力した。	+25.5	100.0

課題（改善したいところ3つ）	全国平均との差（％）	西坂小の割合（％）
①国語の授業で、目的に応じて簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている。	-6.8	75.0
②インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができる。	-6.4	83.4
③国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などして必要な情報を見付けている。	-4.1	75.0

(2) 学力向上を目指す各種取組（各取組はつながり合って効果を高める）

①学級経営

- ・温かい言葉かけや励ましを通して、子どもたちの自己肯定感を育む。
- ・悩みや困難を抱える子どもに寄り添い、適切なサポートを提供する。

②生徒指導

- ・挨拶、ルール・マナーの定着を図る。
- ・「いじめ」を絶対に許さない人権意識の向上を図る。

③特別支援教育

- ・児童理解を深め、一人ひとりの個性やニーズに応じた支援を行う。
- ・保護者との連携を密にし、家庭環境も考慮した支援を行う。

④学習規律

- ・UDの考え方を基にした、担任が変わっても生き続ける「そろえる」取組について検討する。
- ・丁寧で分かりやすい言葉遣いを教師、児童共に心掛ける。

⑤わかる授業

- ・ICTを効果的に活用し、多様な学びを提供する。
- ・単元末や授業の終末に振り返る活動を確保する。
- ・指導と評価の一体化を図り、児童と目標（めあて）の共有し、適切な評価のフィードバックを行う。

⑥授業改善

- ・国語科指導（校内研）を柱とした「読解力」を伸ばす授業実践・授業研究に取り組む。
- ・学力調査を基にした課題改善のための授業に取り組む。
- ・「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業」づくりにチャレンジする。